

とんぐい村の こみ・すく通信

令和4年6月10日発行

令和4年度 第5号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

更中ごみ拾い隊実施

ごみ拾いで地域への感謝の気持ちを示す

5月13日に、更別中央中学校の全校生徒が「更中ごみ拾い隊」の活動をしました。

今年は部活動ごとに6班に分け、街の中心を中心に、南4線の高規格道路や更別農業高校の方まで範囲を広げ実施しました。部活の仲間と協力しながら張り切ってごみを拾っていました。



担当した生徒会の若園君は、「地域への感謝の気持ちをもってたくさん拾おうと声をかけました。みんながんばっていました。」と話していました。



各部で集めたごみ。大型ごみもあり、大量です。

みんなの学校応援団の活動を紹介<その2>

大地敏夫さん 上更小学校で写真撮影

昨年の8月、上更別小学校学校運営協議会で、学校側から「今まで職員が行事等の写真撮影をしていたが、職員も少なく、できれば地域の方が撮影してくだされれば有難い」という要望が出ました。

それを受けて、地域で写真撮影をしてくださる方を探しました。写真を趣味にされている大地さんをお願いをし、学校応援団にも登録していただきました。

大地さんは、昨年度の学習発表会、卒業式、今年度の入学式には上更小に来校し、スナップ写真、全体写真など子どもたちの素敵な表情を撮ってくださっています。

地域の方が、こういう形で学校を応援してくださり、本当にありがとうございます。



集中してファインダーをのぞきこむ大地さん

さらべつぽーぷ 地域の子もたちに生き抜く力を

子どもたちに自分で選んだ人生を自分らしくいきいきと生きてほしい。そのためには、子どもたちの自己肯定感を養うことと社会を生き抜く力(コミュニケーション能力、共感する力、ストレスへの対処、情動への対処、論理的思考等)を身に付けることが必要であると考え活動している団体です。平成25年に発足。

メンバーは、医師、保健師、教諭、福祉職、その他専門職、地域の賛同された方々です。現在では、小学校5年生、6年生(いずれも更小、上更小合同)、更別中央中学校1年生、2年生、3年生の5つの学年で授業をしています。



新年度になり、山田代表が各学校に「さらべつぽーぷ」の活動趣旨を伝えがたら挨拶回り。更小にて